

署名ニュース No6

横浜学童保育連絡協議会

〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-7
三平ビル201
TEL 045-662-7244
FAX 045-663-4118
E-Mail : hama_gkd@d3.dion.ne.jp

12月9日最終提出

奥山会長以下 **307, 118筆**

カンパ（入金済）	:	1,	118,	554	円
子ども各界連	:	280,	530	筆	
障がい児	:	15,	110	筆	
給食	:	7,	992	筆	

ゆきとどいた教育を求める： 1, 700筆

ご協力ありがとうございました。



横浜市会 平成28年第4回定例会

12月13日(火) こども青少年・教育委員会開かれる
1時間にわたる審議の結果――

無所属・ネット、共産が賛成 賛成少数により不採択

11月30日(水)提出集会後、29万筆の請願署名を議会に提出しました。その後審議の前日までに届いた分の積み増しをして、総数 奥山会長以下307,118筆の署名を議会に提出することができました。

12月13日(火)10時よりこども青少年・教育委員会が開かれ、請願項目についての審議が行われました。今年は委員会をモニター傍聴しました。

担当局の説明の後、自民・民進・無所属ネット・公明・共産の順に全会派から意見と質問が出され、約1時間にわたって審議されましたが、共産2、ネット1の賛成少数で不採択となりました。

議員懇談会の成果

今回特に多かった発言は、移転・分割に対する横浜市のありかたでした。賛成に回らなかった会派からも「学童保育の保護者や指導員とは毎年懇談をしている。移転・分割について、区に相談をしているが進んでいない。もっと学童に寄り添った対応をしてほしい。」という旨の発言もありました。

合わせて、横浜市監査委員会から、学童の分割移転計画が進んでいないことが指摘されていることに対し、当局は「指摘されるまでもなく把握している。」と返

答しました。それに対し公明党議員から、「その言い方は納得できない。不十分だから指摘をされる。市は委員会で我々に説明をするのもっと準備をして臨むべきではないか。」と市の対応をたしなめる一幕もありました。

また、キッズとの保育料の差についての質問に対しては、局長と部長が相次いで「17時までではすべての児童を受けているので、その部分の負担をどうするか難しい。」との返答。キッズクラブの制度の曖昧さがあらためて露呈した答弁になりました。

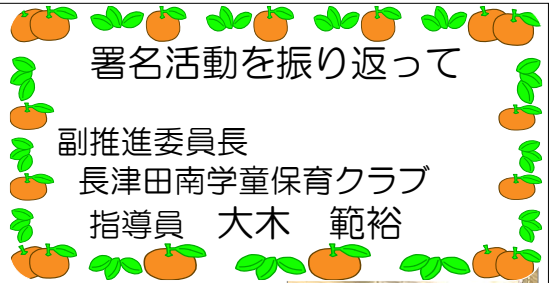
それとは別に、経済的な理由や立地の問題でキッズと学童が選べない家庭もあるとの発言に対しては、当局が「ひとり親や多子減免は制度として必要だと認識している。」と回答しました。

これは、各区で行われた議員懇談の成果ではないでしょうか。

署名を続ける意味とは

今年も結果としては不採択という残念な結果ではありましたが、このようは発言や答弁は、**請願を行なったことで、委員会や議会という公式な場での議論となり、議事録にも残ります。**特に今年には審議時間も長く、今後の運動のあり方を考えるうえでポイントになる発言も多くありました。その点ではとても意味のあることだと考えます。この繰り返しが進んでいっていることに自信を持っていきましょう。

※ 横浜市会HPから、子ども青少年・教育委員会の録画中継が配信されています。議事録は例年でいきますと翌年4月くらいに見られる予定です。



署名活動を振り返って

副推進委員長

長津田南学童保育クラブ

指導員 大木 範裕

残暑厳しい8月末から、秋を過ぎ、寒い冬を迎えるまで約3か月間、今年もみんな力で合わせて、署名活動に取り組んできました。



年々「職場での署名がとりにくくなっている。」という声が聞かれています。そのような状況の中でも、各クラブ毎に目標をたて、街頭署名なども実地しながら、今年も30万をこえる署名数を集めることができました。たしかに個人情報観の観点から、署名に取り組みにくい状況があるかもしれません。しかし、その一方で、長年続いているこの署名活動によって、学童保育への理解が広がっていることも事実です。街頭署名で足を止めて署名してくれる人は数多くいるのです。継続した活動は理解を狭めることはなく、より多くの理解を広げていることに確信を持ちましょう。

また、今年も市議会での署名の審議は「不採択」という結果となりましたが、今回は約1時間をかけての審議となりました。議員からの発言から「各地域での学童保育の実情の声は聞いている。」という声は何回か聞かれました。各地域での議員懇談会を毎年続けているからこそ、議員への理解も浸透していったのではないのでしょうか。

「署名」は、行政に対して要望を訴え

る1つの大きな手段です。「継続は力、重みがある。」ということに確信をもって、課題を一步でも二歩でも前進させるために、保護者と指導員が力をあわせて引き続き、横浜市や議会に働きかけていきたいと思います。

街頭署名活動報告

保土ヶ谷ブロック
峯学童クラブ 署名推進委員
和泉 繁昌・廣瀬 紳

保土ヶ谷ブロックでは、例年、保土ヶ谷区民まつりにおけるブロック全体での署名活動と、所属の各学童クラブが各々の施設付近において実施するクラブ単位での署名活動を行っています。

今年も、10月15日（土）に、保土ヶ谷公園において、保土ヶ谷区民まつりが行われ、署名活動を行いました。

今年は、天候にも恵まれ、保護者（指導員含む）71名、子ども58名が署名活動に参加し、1195筆の署名をいただくことができました。

「子どもと協力して声かけしたのが良かった。」「風船の効果が大きかった。」などの感想がありました。

保土ヶ谷区民まつりでの様子



また、峯学童クラブからほど近い所に、横浜のアメ横として全国的にも有名な松原商店街があります。商店街としては来客数が多いので、峯学童クラブでは、毎年、この松原商店街において、延べ2日間の街頭署名を行っています。

今年度は、9月17日（土）と10月8日（土）に署名活動を行いました。署名活動には、保護者だけでなく子ども達も元気いっぱいに参加し、大きな声で学童保育の改善について訴え、署名をお願いしていました。

9月17日（土）は、まだ夏の暑さが残る中、保護者15名、子ども15名が署名活動を行い、774筆の署名をいただくことができ、10月8日（土）には、保護者9名、子ども8名が署名活動に参加して、297筆の署名をいただくことができました。

「子どもと一緒に活動していると足を止めてくれた。」「子どもがいる方、大家族の方に声をかけると、まとめて署名をしてもらえた。」「知り合いが通るので、声をかけやすかった。」などの感想がありました。



11/12の桜木町駅前MM21街頭署名。
裏方?として盛り上げました!!

2016年・署名活動を終えて

神奈川ブロック
中丸やまばと学童保育所
指導員 藤井 伸一

8月末より始まった署名活動も11月30日（水）の提出行動、先日の議会を経て、終了をむかえました。

「不採択」という結果は出ましたが、結果だけにとらわれてもいけない気がします。思えば、この3か月、色々な事がありました。マスコミ要請行動では、大きな事件の影響で新聞社を訪ねても記者に会えなかったりもしました。

又、神奈川ブロックではこの間、2度に渡り議員懇談会を行いました。長年続けていることと何度も来ている議員さんたちでしたので、我々の話しは受け止め

ては頂いているものの、請願を通すためには・・・という話では現実を突きつけられ、少なからずショックを受けました。

40万の署名を集めていた時を知っている私としては、現在の数字に落胆した時もありましたが、今の情勢、世の中の移り変わりの中、「30万」という署名を集めたということや、議員から本音や議会での発言を引き出したことは成果の一つととらえられても良いのではと思います。

市民の声を届けるのは署名に他ありません。今も昔も変わらぬ一筆の重さ、学童保育の必要性、それらを語り継ぎながら、新しい時代のやり方に対応しながら、これからも運動を続けていけたらと思います。

ここで一息・・・Tea Time

やっぱ学童保育でしょ。

そのことを認識できた期間だったのではと思います。

審議も終了しましたので、署名に協力していただいた地域や職場の方、OBなどに、お礼を兼ねての報告をしてください。

年末年始の挨拶、クラブ行事へのご招待など、その方に伝わりますように♪

**3ヶ月超にわたる署名活動
お疲れ様でした～**